

■ 文化施設の活動支援環境整備事業<ロジックモデル>

現状把握 ・課題設定	インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム			インパクト
<p>新型コロナウイルスの影響は、劇場や博物館等の文化施設の活動を大きく変え、多くの来場者や来館者によって支えられてきた、これまでの「生」公演や「生」展覧による活動収益に、「配信」等による活動収益と組み合わせた収益モデルに移行せざるを得ない状況となっている。</p> <p>文化施設の公演や展覧等の配信による活動は、コロナ後の新たな日常における転換期として、必要不可欠であり、文化芸術の灯を発展・継承させるためにも、転換期を支えるための支援が必要。</p>	<p>予算： 10,000百万円</p>	<p>文化施設の「新たな日常」における公演・展覧等の配信等への支援</p> <p>①文化施設の活動支援</p> <p>②配信等の環境整備への支援</p>	<p>①文化施設の活動支援件数</p> <p>②配信等のプラットフォーム構築への支援件数</p>	<p>【短期】</p> <p>文化施設の公演・展覧等の配信等の取組の増加</p>	<p>【中期】</p> <p>文化施設の公演・展覧等の配信等の取組の「収益化」により、「生」公演等だけでなく、「配信」公演による収益モデルが全国で展開</p> <p>「配信」公演に参加する国民の増加や参加者の満足度の高まり</p>	<p>【長期】</p> <p>日本国民の文化芸術の鑑賞や体験活動が拡充。</p> <p>「生」と「配信」の組み合わせにより、文化芸術への活動の幅が広がる。</p>	<p>コロナを奇貨として、国民の文化芸術活動が活性化し、文化芸術立国が実現</p>